



平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神と呼ばれる。(聖書より)

## 巻頭言「どんな時にもユニークを忘れずに」 NPO 法人 NCM ジャパン代表 篠澤俊一郎

「たとえ明日世界が滅びることを知ったとしても、私は今日りんごの木(苗木)を植える」これはマルティン・ルターの信仰を表した言葉とされています。この言葉はキリスト教界に留まらず、映画や小説・様々な場面で使われています。それほどにこの言葉には力があるのでしょうか。私にとってもこの言葉は、いつも壁にぶつかった時に助けられてきた言葉です。

コロナ禍になって早3年を迎えようとしている昨今、世界の環境が刻一刻と激変していますがこれは支援活動においても例外ではなく、特に子ども支援においては多大なる影響があります。その度に一喜一憂してしまいます。

マルティン・ルターは聖書をドイツ語に翻訳、讃美歌を作る等、多才の持ち主でしたが、あるスポーツの発展に寄与した人物でもあります。実はあまり知られていませんがそれはボウリングです。

彼は悪魔払いの宗教儀式を基に、ピンの数を9本に、ピンの置き方をひし形にする等、現在のボウリングの基本的なルールを統一しました。その結果、ボウリングは特に宗教家たちの間で人気のスポーツとして栄えたと言われています。



宗教改革当時も世界の環境は刻一刻と激変していた事でしょう。

しかし彼は、その状況をユニークなアイデアによって切り抜けていきました。

さて、私たち生きる世界は現在コロナ禍にありその影響は計り知れませんが、私たちもただただ一喜一憂するのではなく、いつでもユニークさを忘れずに一日一日を歩んでいきたいものです。

## 今月の内容

- 子ども料理指導始動!
- 交流会開催!  
～コロナ・人間・生物～
- 会員募集・編集後記

## ●子ども料理指導始動!

コロナ禍になり、こどもの貧困もより大きな問題になりつつあります。その事も、日本各地で子ども食堂の必要性がより増しています。

これに呼応する形で行政も子ども食堂設立に対して助成金制度を設けるなど力を入れ始めており、これも重要な事だと思います。

しかし、このような支援体制強化を他所に、こどもの貧困の問題は次のフェーズへと移行しつつあり、これに対する対策も急務です。

それは、「親と過ごす事が少なく」・「親と買い出しに行く事がなく」・「一緒に食事する事がない」子どもが成長していくと、自身の食事を配給された弁当にのみ頼り、コンビニおにぎりやインスタントラーメン等のみの食生活となる傾向がとても強くなります。

結果、成長に必要な栄養を摂取する事ができず、生活における食費も増大し家計を圧迫します。

これは、日頃の食生活の模範を示す大人の存在がない事が原因で、子どもの自立心を大きく阻害します。今後の支援方法として、子どもの貧困に対して、子どもの自立をトレーニングする場が必要です。

NCM ジャパン京都事務所では、中高生向けに、中高生の交代で買い出し、献立、調理、片付けまでできる自立トレーニングをスタートしました。



## 交流会開催！～コロナ・人間・生物～

こんにちは！ NCM ジャパンでのさまざまな活動をご紹介してきた NCM ジャパン News Letter ですが、今号では、21年11月に昆虫学者でヒアリの専門家の坂本洋典先生をオンライン講師としてお招きした研修会の様子をお届けします。

6月、10月の開催回とは違ってかわり、今回は外部より講師の方をお呼びし、講演会形式での開催となりました。

講演を行っていただいたのは国立環境研究所で研究をしておられる坂本洋典(さかもと ひろのり)先生。コロナという身近なテーマに始まり、ウイルスとは何か？人間とは、生物とは…？と、根源的な話題にまで遡ってお話いただきました。まずアイスブレイクとして、坂本先生から色々とクイズの出題をされました。「坂本先生が研究している外来生物は、『オオアリクイ』『ヒアリ？』…正解は、『ヒアリ』。また、坂本先生から参加者への質問も。「コロナに関する専門家の意見は信用できる？信用できない？」…多数を占める「信用できない」の意見に対して、坂本先生は「ではどのような情報なら信用できる？」と続け、コロナに関する情報の氾濫への適切な接し方についてお話いただきました。



●×形式の楽しいアイスブレイクでした！



(坂本先生とオンラインで結ぶ新しい講演の形！?)

アイスブレイク後の講演は「ウイルスは生き物なのか？」という問いに始まり、生物とは何か、という問いに繋がっていきます。

坂本先生によれば、生き物とは  
①外界と膜で仕切られており  
②代謝を行い  
③自分の複製を作り、そして  
④個体として区別できるもの、  
として定義されるといいます。そしてさらに問いは続きます。「個体として区別できる」というのが、果たして自分とはどこまでを指し、どこからが他人なのか？…最初の素朴な問いは次々に別の問いを呼び、参加者との対話は哲学的な様相を帯び始めます。

またウイルスの話題は他にもさまざまな方向にも広がっていきます。「コロナは存在しない、という人がいたとして、坂本先生ならどうやって説得するか？」…坂本先生は相手がどのような論理でそれを主張しているのかを確認した上で、その論理の組み立てに間違っているところはないか調べてみることに、また一方で「コロナは存在する」ということの根拠を徐々に詳しくつつ提示する、といえます。

講演の終わりでは、参加した子ども・大学生ボランティアたちで、感想を共有する時間もたれました。「コロナウイルスや感染症について学ぶ良い機会になった」「親睦を深められてよかった」などさまざまな感想が挙げられました。この場をお借りして、改めて坂本先生にお礼を申し上げたいと思います。坂本先生、ありがとうございました。



参加した大学生の感想

今回は国立環境研究所でヒアリについて研究している坂本先生をゲストスピーカーとしてお招きした貴重な場となりました。

どこまで何を生き物と定義するか、自分とはどこまでを指すのか今まで深く考えてこなかったような側面から自分を捉えなおす機会にもなりとても面白かったです。ウイルスは果たして生き物なのか、キリスト教においてのウイルスは神の創造物なのかなど面白いテーマが沢山あり、考えるのが楽しかったです。現在は感染症の主な対策としてはワクチン接種となっておりますが、摂取したからといって必ずしも発症しないわけではなくあくまで重症化を防ぐものだとされています。

未知のウイルスはまだたくさんあり、今後コロナウイルスほどの感染力の持つウイルスが何度も出現した際、世界はどうなっていくのか、ワクチン以外の画期的な対策方法は出てくるのかなど集まった人たちが話せて面白かったです。

また、子どもたちも自分で考えて意見を積極的に発言していてとても立派だなと思いました。今回の研修会で、コロナウイルスや感染症について学ぶ良い機会となり、坂本先生をはじめ、皆さんと親睦を深められ良かったです。□



坂本先生と藤澤代表は20年以上の友人！

### Pick up! 一統 利尻プロジェクト

前回のニュースレターでは、北海道の利尻島と京都を結ぶプロジェクトについてお知らせしました。

そして、無事に第一回利尻プロジェクトが終了しました。研修会でも報告されました。

そちらの様子は動画にしましたので是非ご視聴ください！

来年度も利尻プロジェクトを実施する予定です。





# ●賛助会員の皆さんによって子ども達の笑顔を守られています



「わたしは  
わたしの人生から  
出ていくことはできない

ならば ここに  
花を植えよう」

(『あいたくて』「花」より引用)



## 賛助会員を募集しています!

NCM ジャパンの活動:

災害支援・子ども支援・国際支援を行っています。

それらの活動の下支えは、賛助会員の会員費・寄付等で  
支えられています。

どうぞ NCM 活動にご協力・ご支援の程、宜しく願いいた  
します。

	入会金 (入会時のみ)	年会費 (毎年口数変更可)
個人	2000 円	6,000 円/口
団体・法人	2000 円	30,000 円/口

### お申込み方法

① いずれかに【氏名・住所・口数】をお送り下さい

NCM ジャパン事務局

・FAX 03-6805-5885

・メール [ncmjapan.ncm@gmail.com](mailto:ncmjapan.ncm@gmail.com)

②口座にお振込下さい。

●ゆうちょ銀行

【口座番号】00130-7-450812

【名義】トクヒ)エヌシーエムジャパン

●他の金融機関

【店名】018(ゼロイチハチ)

【店番】018

【預金種目】普通預金

【口座番号】8622523(※末尾の1は不要)

## 編集後記

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。まだまだ寒さの応えるこの時期ですが、最近、寒さを乗り切る方法を発見しました!それは、ずっと布団で過ごすという方法です!朝が来ても、昼になっても、そして友人がわざわざ起こしに来てくても、意地でも布団を出ない…私はこの方法で、大量に大学の単位を落とすことに成功しました。NCM ニュースレターをご覧の皆様におかれましては、どうぞ温かくして、ご自愛ください。以上、羽毛布団の中からお送りしました。

企業・団体様よりご支援いただいています。

キリンビバレッジ株式会社様より

- ・プラズマ乳酸菌入り飲料
- ・サプリメント



右京区社会福祉協議会  
京北事務所様より・お米を  
ご支援いただきました。



発行者:特定非営利活動法人 NCM ジャパン

東京都認証(設立認証:2015年6月4日)

代表理事:篠澤俊一郎

東京事務所 東京都中央区日本橋小伝馬町7番14号

京都事務所 京都府京都市右京区太秦安井辻ノ内町10番地1号

メール:[ncmjapan.ncm@gmail.com](mailto:ncmjapan.ncm@gmail.com)